

\みんなで考えよう/ これからの自治会(町内会)運営

地域で安心して気持ちよく暮らしていくためには、子どもや高齢者の見守り、ごみ集積場の維持管理、清掃活動、広報物の回覧、防災活動や親睦行事など、自治会の活動が必要不可欠です。

一方で、自治会加入率の低下や、高齢化による担い手不足など地域活動のつながりの希薄化への危機感が高まっています。

出雲市では、昨年度から自治協会とコミュニティセンターの業務の負担軽減に取り組んでいるところですが、各自治協会・自治会においても時代やライフスタイルに合わせた活動にしていける必要があります。

今後の自治会運営について考えてみましょう。

活動内容の見直しについて

住民の価値観・ニーズ・ライフスタイルは時代とともに変化していくため、自治会運営も時代の変化に応じたやり方が求められています。



●デジタル化の推進

自治会内の連絡等は、LINEやメール等により速やかな情報共有・情報発信ができます。



●事業の整理(統合・廃止)

参加者が少なくなったり、固定化したりしている活動や、地域の実情に合わなくなった活動は、優先順位をつけるなど、みんなで話し合ってみることも必要です。

●班や組の再編

班や組を構成する世帯数が少ないと役が頻繁に回ってきます。再編をして負担を減らし、所属する班や組で差が出ないようにしましょう。

出雲市では、令和3年度から「自治会支援アドバイザー事業」を実施し、モデル地区において専門家のアドバイスを受けながら、組織体制や活動内容の見直しに取り組んでいます。

この他にも、各地区での取組の参考になるよう、市内における自治会に関する取組の事例集を作成しています。

これらについては、いずれも市のホームページで確認することができますので、ぜひ参考にしてください。



▲モデル地区の活動状況



▲自治会に関する取組事例集

出雲市自治会等応援条例について

出雲市では、平成27年に「出雲市自治会等応援条例」を制定しており、間もなく10年の節目を迎えます。

地域住民、自治会等、事業者、住宅関連事業者、議会及び市がそれぞれの役割を認識し、条例の目的である「交流と支え合いで絆を育み、そして感動と笑顔が生まれる豊かな地域コミュニティ」の実現をめざしましょう。



▲詳しくはこちら



ポイ禁だより

～きれいなまち いずも～



出雲市ポイ捨て禁止推進協議会は、令和6年度も「きれいなまち いずも」をめざして啓発事業等に取り組みました。



環境美化表彰

5月30日、美化活動の推進に顕著な功績があった団体を表彰しました。



大社コミュニティセンター
環境美化推進サークル



小学校低学年の部 大賞作品

ポイ捨て禁止ポスターコンクール

小・中・高校生を対象に、ポイ捨て禁止啓発ポスターを募集し、178作品の応募がありました。

大賞作品はポスターに加工し、コミュニティセンターや公園等に掲示しました。

高校生の海ごみ調査

7月14日、高校生が三津海岸で漂着ごみの調査を行い、意見交換をしました。また、結果を「いずも産業未来博2024」で発表しました。

【参加者】平田高校 JRC部、大社高校 JRC部
出雲西高校 インターアクトクラブ



『私たち高校生がきれいなまちのためにできること』として出された意見



身近な
清掃活動に
参加する

ごみが
落ちていたら
拾う

ごみの
発生を
抑制する



ポイ捨て禁止キャンペーン



10月12日、出雲駅伝前に市役所周辺のごみ拾いを行い、「夢フェスタ in いずも」のイベント会場でポイ捨て禁止を呼びかける啓発活動を行いました。

【参加者】協議会委員、ディオッサ出雲FC
スチール缶リサイクル協会

不法投棄防止パトロール

11月15日、朝山地区の不法投棄現場を確認し、市内の不法投棄の状況について出雲警察署から話を聞いたほか、地域での取組について意見交換をしました。

【参加者】協議会委員、出雲警察署、しまね産業資源循環協会
出雲市環境保全連合会朝山支部



不法投棄 5年以下の懲役または1千万円(法人に対しては3億円)以下の罰金

18万人ポイ捨て一掃大作戦

毎年10月の『ポイ捨て禁止月間』に行っている18万人ポイ捨て一掃大作戦は、今年度も、個人、自治会、企業、学校、市民団体など13,504人の皆さんにご参加いただきました。ご協力ありがとうございました。

一人ひとりがマナーを守り、ポイ捨てや飼い犬のふんの放置のない、きれいな出雲市にしましょう。



おたずね／出雲市ポイ捨て禁止推進協議会事務局(環境政策課内) ☎ 21-6989 FAX 21-6597